

◇競技会・試合を開催する際の条件

- ① 競技会が開催される自治体の方針に従う。
- ② 参加チームが所在している都道府県が開催地を含めた都道府県間の移動を認めている。
- ③ 参加するチームの選手全員が試合に向けたコンディションが整っている。
- ④ 競技会に関わる関係者、参加チームの選手・スタッフが日常において「新しい生活様式」に従って感染対策を実践している。
- ⑤ 競技会会場において主管 FA が十分な感染防止対策を実行できる。

◇競技会開催において留意すべき事項、準備すべきポイント

I. 地域の状況に応じた競技会・試合開催の判断基準

◆活動レベル1：緊急事態宣言の対象地域

競技会・試合の開催は自粛してください。

◆活動レベル2：緊急事態宣言解除地域：感染拡大注意

特に都道府県をまたいでチームが移動する競技会・試合については、自粛の検討をしてください。各都道府県知事によるイベントの開催制限が解除されている場合は、十分な感染対策を講じた上で都道府県 FA 主催競技会開催が可能となります。尚、原則無観客試合とし、参加チームは移動中の感染リスク対策をしっかりと行うことが求められます。

◆活動レベル3：緊急事態宣言解除地域：感染観察

大規模なスポーツイベントの開催については、感染リスクへの対応が整わない場合は中止又は延期を検討してください。**参加者数（参加チーム、大会関係者）は最大でも上限100名以下、かつ定員の50%以下が開催の目安となります。**十分な感染対策を講じた上で地域 FA 主催競技会開催が可能となります。**尚、観客エリアにおける十分な感染防止対策が整わない場合は、無観客試合としてください。**

◆活動レベル4：緊急事態宣言完全解除：感染観察

主管 FA が十分な感染対策を講じた上で JFA 主催全国大会開催が可能となります。尚、観客エリアにおける十分な感染防止対策が整わない場合は、無観客試合とします。参加チームは移動中の感染リスク対策をしっかりと行うことが求められます。

II. サッカー競技会開催時の感染防止策

1. 事前の対応

主管 FA は、会場において感染防止対策に向けた準備を行うとともに、参加チームに対し、感染防止のために選手・スタッフが遵守すべき事項を明確にして事前に連絡し協力を求めることが重要です。**主管 FA 及び参加チームはそれぞれ感染対策責任者を設置し、事前、試合日、事後にお互いが連絡を取り合える環境を構築してください。**

(1) 参加者への連絡事項

- ① 以下の事項に該当する場合は**自主的に参加を見合わせる**こと
 - 体調が良くない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる
 - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ② 参加者**全員がマスクを着用**する
- ③ 参加者全員の**健康チェックリストを作成し提出**してもらう※
- ④ 競技会に参加する上で主管 FA が示す注意事項を遵守してもらう
- ⑤ イベント中に誰とどのくらいの距離で何分くらい話したか、その時にマスクを着用していたかなど、他人との接触状況を記憶しておく。（感染者発生発覚の際の濃厚接触者特定に役立ちます）

※健康チェックリスト記載事項

- ① 氏名、生年月日、住所、連絡先（電話番号、Email アドレス）※個人情報の取扱いに十分注意する
- ② イベント1週間前から当日までの体温
- ③ 競技会前2週間における以下の事項の有無
 - 平熱を超える発熱
 - 咳（せき）、のどの痛みなどの風邪症状
 - だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）
 - 臭覚や味覚の異常
 - 体が重く感じる、疲れやすい等
 - 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

(2) 監督会議／代表者会議

監督会議／代表者会議は**原則として事前にオンラインで開催**してください。オンライン開催が難しい場合は、参加チームへの連絡事項・注意事項等をメールで展開する、当日に紙で配布するなど、大勢の人数が一堂に会さないよう工夫して下さい。

ユニフォーム決定については、対戦カードが確定しているものについては原則として大会前にユニフォーム写真を送ってもらい**主管FA及び主管FAの審判委員会で事前に決定**して参加チームに通知してください。

2. 競技会会場における感染防止対策

(1) 諸室（運営諸室における対応）

- 各部屋に**アルコール消毒液を設置**する。
- 全てのドア及び窓を開け**、3つの密が発生する環境を阻止し、ドアノブを介した接触感染を防ぐ。
- ドリンクを冷やすためのドブ漬けは使用しない。
- 座席を設置する際に**前後左右1.5～2m間隔をあげ**、お互いが正面に座らないよう配慮する。
- 喫煙所は設けない。

(2) 手洗い場所

- 手洗い場には**ポンプ型の液体または泡石鹸を用意**する。
- 「手洗いは30秒以上」等の掲示**をする。
- 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を用意する。（布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しないようにする。）
- アルコール消毒液を設置**する。

(3) トイレ

- 便器の**蓋を閉めて汚物を流す**よう表示する。
- 手洗い場には**ポンプ式液体または泡石鹸を用意**する。
- 「手洗いは30秒以上」等の掲示**をする。
- 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を用意する。（布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しないようにする。）
- アルコール消毒液を設置**する。

(4) ロッカールーム

- 広さにはゆとりを持たせ、選手同士が密になることを避ける。
- ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する、別室を用意する、または外部にテ

ントを設置する措置を講じる。

- 室内又はスペース内で**複数の参加者が触れると考えられる場所については消毒**する。
(ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子、マッサージベッド等)
- 一日に同会場で複数試合を行う場合は、**試合終了毎に消毒**する。
- 換気扇を常に回す、2つ以上のドア、**窓を開けっ放しにして常時換気**を行う。

◆チームの注意事項

- 選手及びスタッフは**マスクを着用**し、会話を最小限に留める。
- 選手及びスタッフはロッカールームの**滞在時間を短く**するため着替えに限定する。
- 選手及びスタッフは**シャワーを交代で使用**し、密集を避ける。

(5) 審判控室

- 広さにはゆとりを持たせ、審判員同士が密になることを避ける。
- ゆとりを持たせることが難しい場合は、別室を用意する、または外部にテントを設置する措置を講じる。
- 室内又はスペース内で**複数の参加者が触れると考えられる場所については消毒**する。
(ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子等)
- 換気扇を常に回す、2つ以上のドア、**窓を開けっ放しにして常時換気**を行う。

◆審判員の注意事項

- 審判員は**マスクを着用**し、会話を最小限に留める。
- 審判員は審判控室の**滞在時間を短く**するため着替えに限定する。
- 審判員は**シャワーを交代で使用**し、密集を避ける。
- 審判員同士のミーティングは会場で3密とならないスペース等を探して実施する。

(6) ベンチ

ベンチで間隔を空けて座れるよう、テント等で**追加ベンチを設置**してください。尚、暑熱対策上、**屋根なしで椅子を並べるのは不可**とします。一日に同会場で複数試合を行う場合は、**試合終了毎にベンチの消毒**を行ってください。

(7) 来場者対応

感染観察都道府県において観客を入れる、または限定的に入れる判断は、**開催自治体の方針に従って**ください。

以下の**項目の実行が難しいと判断された場合は、無観客試合を検討**頂くようお願いいたします。

◆事前通達（ホームページ等で周知徹底）

- 体調の悪い人は来場を控える
- 来場する際は**マスクを着用**する
- 大声での声援や大旗を使つての応援は行わない
- 場内ではそれぞれ2mの間隔を保ち、ハイタッチ、抱擁、肩を組むなどの行為は控える

◆試合当日

- 試合会場各所（入退場ゲート、トイレ等）に**アルコール消毒液を設置**する。
- 入場時に**来場者の体温チェック**が推奨される。体調の悪い人への観戦自粛を促すアナウンスを徹底する。
- 飲食売店の運営は、安全対策に十分配慮した上で判断する。ドブ漬けを使用したドリンクの販売は行わない。
- 喫煙所は設けない。
- 場内アナウンス、電光掲示板等で、上記「事前通達」事項のアナウンスを随時行い、守らない方には直接注意する。
- 注意しても改善されない場合は退場してもらうなどの措置を講じる。

(8) マッチコーディネーションミーティング（MCM）におけるチームへの伝達事項

主管 FA の感染対策責任者は MCM に出席し、運営に関わる注意事項、チームへの依頼事項として以下の項目を参加チームに伝えてください。

- 試合前、試合後に相手チーム、審判団との握手、両チームベンチへの挨拶は実施しない
- エスコートキッズ、チームでの円陣は実施しない
- 倒れた選手に手を貸したり、得点時にハイタッチ、抱擁を行わない
- ピッチ内でも咳エチケットを守り、つばを吐く、手鼻をかむなどの行為を行わない

- 口に含んだ水を吐かない
- ボトル、水・氷を溜めたクーラーボックス、タオルを共有しない
- ピッチ上でチームメイト、審判員と会話する際にも互いの距離についてしっかりと配慮する
- ベンチではマスクを着用**し、会話を控える

(9) メディア対応における注意事項

◆事前準備（取材者への周知徹底）

(ア) 以下の事項に該当する場合は**自主的に来場を見合わせる**こと

- 体調が良くない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
- 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる
- 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

(イ) **マスクを常時着用**する

(ウ) **健康管理表を作成し入場時に提出**する

(エ) 競技会に参加する上で主管 F A が示す注意事項を遵守してもらう

- 取材申請時に健康管理表を送付し、当日受付で提出してもらってください。

◆試合会場のメディア設営

競技者とメディアの不要な接触を避けるための**メディア動線を作成**し、以下に留意して設営を行ってください。

- 記者室や記者席、記者会見場では、各記者が前後左右 1.5m～2m 間隔で座ることができるよう、座席を配置する。
- 記者室、記者会見場の入口に**アルコール消毒液を設置**し、全ての**ドア及び窓を開けっ放し**にする。
- 3 つの密を回避できる部屋がない場合、記者室を設置しないことも検討する。
- 記者会見場の大きさに応じて記者の数を限定する。競技会会場に会見場がない、または 3 密を回避できない場合、感染リスクを回避できるスペースにミックスゾーンを設置してメディア対応する。
- ミックスゾーンにおいても換気を十分行い、取材中、選手取材者が 2m の距離を保てるようにブラ柵等を設置する。

◆当日のメディア運営（受付時に検温）

- 常時**マスクを着用**し、不必要な会話を控える。
- 代表質問を行うなど、取材者の人数も必要最小限となるように調整する。
- 選手との距離は 2m 以上取り、取材者同士も、最低 1m 間隔を保つ。
- できるだけ**短い時間で取材**を終える。

(10) ゴミの廃棄方法

ゴミを収集する際は、**マスクや手袋を必ず着用**してください。ゴミはビニール袋に入れて密閉して縛り、廃棄してください。マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒してください。

これら(1)~(10)を実施しても感染リスクをゼロにすることはできません。主管 F A、参加チームは、その点を理解した上で、競技会に参加してください。

また、各諸室の窓、ドアの開放、運営関係者及びチーム関係者全員にマスク着用を義務化することにより、熱中症を発症するリスクが高まります。**こまめな水分補給を心掛け**ましょう。

3. 事後対応

- (1) 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取り扱いに十分注意しながら、競技会当日に参加選手・スタッフ、メディア、運営関係者から提出された**健康管理表を、保存期間（少なくとも 1 ヶ月）を明記した上で保存**しておくようにしてください。
- (2) 競技会終了後**3 日以内に、各チームの感染対策責任者に連絡**を取り、具合の悪い選手・スタッフがいらないか確認してください。
- (3) 万が一運営スタッフの中から競技会終了後 14 日以内に新型コロナウイルス感染症の**感染が判明した場合は、保健所の指示に従うとともに、JFA にその旨ご報告**ください。また、チームから競技会終了後 14 日以内に感染者発生の報告があった場合にも、同様にその旨 JFA にご報告ください。